

令和8年3月吉日
船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校
校長 市川 義文

令和7年度 前年度の改善方策について実行した改善結果

1 学習指導について

前年度の改善点の指摘を受け、引き続き生徒の「主体的な学び」や「学ぶ喜びを感じさせる」授業改善を行った。毎年指標としている生徒の「私は主体的に学習に取り組んでいる」の肯定的評価が生徒全体で84.8%と前年度よりさらに2.1%伸びた。これは生徒の学習についての評価項目が、ほぼどの項目も90%を超える肯定的評価を得ていることから、教員の授業改善や生徒への働きかけの成果が出てきた証拠である。また、生徒の「先生は提出物やテストなどをわかりやすく評価している」の肯定的評価が91.6%と昨年度より5.6%上昇していることから、指導と評価の一体化がなされた結果とも言える。さら魅力的な授業を行い、生徒の学習意欲を高めていきたい。

2 生活指導と進路指導（キャリア教育）について

生活指導については全項目とも、前年度より肯定的評価が上がり、生徒では90%以上になった。

特に、生徒の「私は、学校での過ごし方やルールについて考えて行動している」という質問に対する肯定的評価が93.1%、しかもそのうち、とても思うが55.1%と生徒の規範意識が育っていることがわかる。

進路指導（キャリア教育）についても、全項目で肯定的評価が上がった。これは教員が意識して取り組んだ成果と考える。課題である、キャリアパスポートの活用も肯定的評価が前年度の61%から70.8%と、確実に上がっている。引き続き活用法の研究を行い、指導に生かしていきたい。

3 保護者、地域との連携・協働による教育について

今年度も、すべての行事をコロナ前のように参観できるようにした。しかし、生徒数に対して施設が狭すぎるので、制約を付けなければならない状態になってしまう。より良い方法についてさらに検討したい。また、学校支援コーディネーターを介して、浴衣の着付け体験や職業講話などを実施できている。

今年度の学校関係者評価アンケートでも、生徒の肯定的評価は高いものの、保護者の評価でどの項目にも、前年度より減ったものの、「分からない」という回答が多い項目がある。特に今年度は「分かりやすい授業をしている」という項目でわからないが増えているので、HPの学校日記の毎日更新の更新や、学校公開へのお誘いなど、もう少し学校のこと、授業のことを保護者、地域に知っていただけるような情報発信のやり方について引き続き検討していく。

4 特色ある教育活動について

本校の特色であるSELについて、全学年で取り組んだ。その成果は生徒の「友達など他の人たちを、認め合い、励まし合おうとする気持ちがある」という項目の、とても思うが前年度の50.9%から62.9%へ上昇していることで成果が出てきていることが確認できる。次年度はさらに内容を整理し、生徒たちに必要な非認知能力の向上を目指したい。